

●「お助けお邪魔し隊」の小田さん(前列中央)と、
「お助けシスターズ」のみねさん。



自信をもって
やりきることが大切。

利用者さんにとっては、同じことを続ける
安心感のほうが強いみたいです。今日嬉
しかったのは、利用者さんから「次はこ
うやって動くのよね」と言っていただ
い。皆さんの中に、振りや動きを覚え
るという積極的な姿勢がうまれている
んですね」

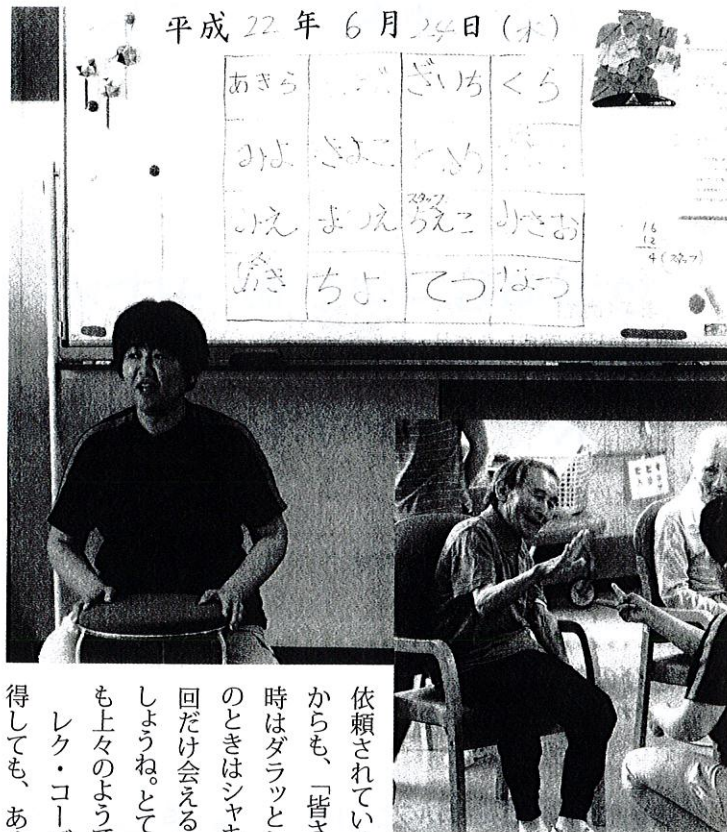
支援する立場からすると、利用者が
飽きていないか、マンネリになっていな
いかと心配し、プログラム構成やアレ
ンジに頭を悩ませがちです。一方で、利用者
にとっては、同じことを続ける安心感と、動
きを自分のモノにする達成感や喜びがあ
るということに気づかされました。

後半は、小田さんが
考えたオリジナルゲー
ム「ジャンケンビンゴ」
を楽しみます。ホワイ
トボードに書かれた
4×4のマスに、利用
者全員の名前をラン
ダムに書き込み、マス
が埋まればゲームス
タート。座っている利用者
と一人づつ、小田さんが
ジャンケンをしていき
ます。見事小田さんに
勝つと、自分の名前に
マルが付きます。中
には名前を聞き取れない
方、ジャンケンの出来ない方など、意
疎通の難しい方もいらしますが、職
員の方に名前を聞いたり、なんとか手
だけを出してもらって「勝ったー、負け
たー」と大きな声でやりきります。

「こちらが構えてしまつてはダメ。循環
関係で相手にも伝わってしまうもので
す。意思疎通が難しい方に対しても、よ
ろしいですかと握手をして、正々堂々
とにかく自信を持ってやりきることが
大切なんです」と小田さん。

ジャンケンは一対一で行いますが、皆
さん仲間の戦いを見守り応援し、勝
てば拍手と笑いがおこります。縦や横、斜
めにマルが4つ揃ったら、該当した名前

平成22年6月24日(木)



の方たちがビンゴ。「スキップを大
切にする」小田さんからは「ハグ」のプ
レゼントです。お互い嬉しそうに抱き合
い、背中を優しくさすりあいます。ゲー
ムは30分程で終わり、前半とあわせて
約1時間ほどのプログラムがすべて終
了です。

終了後も、利用者の方たちと談笑さ
れる小田さん。お互いに
近況などを話しあうそう
です。「プログラムよりも、
お話しするのを楽しみに
してくれている人も多い
みたいで(笑) 皆さんから
は、次はいつ来るの? 楽し



みに待つてるからねと
言っていただけで、本
当にありがたいこと
です。こうして待つて
くれる人がいるので、私は一
人じゃないんだと頑張
ることが出来ます」

依頼されているデイサービスセンター
からも、「皆さんうちのスタッフが行
う時はダラツとしているのに、小田さん
のときはシャキツとしているんです。月2
回だけ会えることに新鮮さがあるんで
しょうね。とても助かっています」と評判
も上々のようです。

レク・コーディネーターの資格を取
得しても、あくまでそこからがスター
ト。とはいえ、なかなか先に踏み出して
いけない方も多い中、小田さんは持ち
前の明るさと情熱でまずは現場に飛び
込み、周りの助けを借りながら日々頑
張っていらつやいます。「目標は子供た
ちからお年寄りまで、幅広く支援でき
るようになること」と語る小田さんの
夢は、まだ始まったばかりです。

あ い か

『琵琶湖哀歌』

① 遠くがすむは 彦根城 波にくれゆく 竹生島

三井の晩鐘 ^{ほんしやう} 音たえて なほにすすり泣く 浜千鳥

② 瀬田の唐橋 じきぬけて 夕陽のふり くだりきし

おもしき姿も 今らずし おもも青春の つたふに

③ 比良のしらぬき とけるとも 風まだれむき 琵琶の渚

オールそろえて せうぼんし うらふ世に運べし

わにづとも

④ 君はつみの子 かねてより かへしは胸の 波まへに

小松ヶ原の ぐにづとも みだもまをすれ つみの上